



2012年 春号

URL : <http://www.karashi.net/>

「弱くされる」ことの祝福

昨年12月沖縄で奉仕中に、右足すねの部分が突然腫れあがり歩けなくなり、「蜂窩織炎」と診断され、私にとって生まれて初めての「16日間入院」、点滴治療を受けました。その後車いすで東京に移送され、東京での入院生活を継続しました。

沖縄のEA先生が沖縄市の病院にお連れくださるなど、沖縄でも東京でも、多くの方々がお祈りくださり、毎日のように訪問してくださいました。愛を受ける幸せを深く感じさせられました。心から感謝申し上げます。

この間、予定されていた奉仕を果たすことが出来なくなり、ご迷惑をおかけしたことをお許しください。しかし世代間ギャップの甚だ大きい陣内、柳沢両カタリストが駆け回り殆どの集会を代わりに引き受け補ってもらえ、後進が育つ機会になったことも感謝でした。

神の憐れみの中で70歳の誕生日と結婚生活40周年を迎え（写真参照）、地上で残された生涯の過ごし方などを静かに思いめぐらす素晴らしい時となりました。

何もない弱さからスタートしたFVIでしたが、一年目にして既に私たち自身が驚かされるような神からの祝福を見せていただきました。乏しい中からこの働きをお支えくださった皆様に心から感謝しています。FVIで奉仕する者たちは、祈りを共にして下さる皆様と共に、主の業に参加させていただいています。献金をもってご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。

皆様の上に豊かな祝福がありますようにお祈りさせていただきます。